

# 法師温泉、戸神山・子持山登山

2012.11/2～4

群馬県 旧月夜野町（水上町と合併して、現在はみなかみ町）の山田さんと久しぶりに登山計画が決まった。私の3連休を利用して。山田さんとの出会いはお互いに「日本百名山」挑戦中の九州・祖母山の登山口の宿で夕食時向い合せになった事です。翌日は登山口まで私の借りたレンタカーで向かい、登山は別々でしたが、山頂で又一緒になり、昼食時お話ししました。私と同じ国鉄・JRの運転手さんだったとの事で親近感が深まりました。山田さん夫妻の百名山完登達成は雨飾山でした。（私の百飾りでどうですか？私は近いので一緒にお祝い登山できます、との意見に賛成されて）天気にも恵まれて雨飾山山頂で祝福できた事が印象的でした。下山後、雨飾山荘で泊まり、祝杯も挙げる事が出来ました。また猿倉～大雪溪～白馬頂上山荘（泊）～清水尾根（高山植物の宝庫でした）～祖母谷温泉（泊）～非公開の樺平～黒四ダム間を特別にトロッコ・ケーブルカー・バスに乗って地下発電所も見学できました。思い出に残る山行もご一緒できました。毎年1回は一緒に登山しようとの約束で二度上峠から浅間隠山～鼻曲山日帰り登山、唐松山荘泊りの唐松岳登山などをしました。その後は私の都合もあり、ここ何年かは途絶えていました。その再開を兼ねての今回の当初予定は11/2は尼ヶ秀山～迦葉山縦走、11/3は大源太山～七ツ小屋山登山でしたが、折からの寒波到来で11/2は中止になり、11/3も標高の高い山は降雪があり無理なので比較的天候の良い沼田寄りの里山と言う山田さんの配慮でした。

11/2は10:00には月夜野ICに着いてしまい、山田さんとの13:00にみなかみ町の「道の駅 月夜野矢瀬親水公園」で合流の約束まで時間があるので、前々から行きたかった法師温泉に向かう事にする。途中の猿ヶ京温泉も前から泊まりたいと思っていた場所だ。法師温泉は国道17号線・三国街道から分かれて溪流沿いに奥まった所にあった。紅葉の真っ最中で気持ちの良いドライブだった。国鉄の「フルムーン旅行」のポスターで一躍脚光を浴びた温泉と言えます。高峰三枝子・上原謙（往年の大スター）がモデルでこの法師の湯での入浴シーンが話題になった。この時のポスターが旅館内に掲示されていました。

法師の湯



法師温泉



フルムーンのポスター



館内の様子



古い建物です



全景です



入り口



法師温泉長寿館は国登録有形文化財で明治時代に鹿鳴館風の建築物として建築されて1世紀以上の歴史があると記されていました。なるほど古い建物そのままです。法師の湯の日帰り入浴料は1000円ですがレトロな雰囲気を楽しむながらの入浴は思い出に残るものでした。撮影禁止の為に浴場内の様子をお伝え出来ないのが残念です。浴槽は4分割されてそれが又丸太で区分されて、8つの浴槽になっていました。玉砂利の間からブクブクと温泉がわき出ていました。各浴槽は微妙に泉温が違いますが、「ぬるい」です。丸太を枕代わりに長湯するのが良いようです。浴場内には脱衣箱が2か所にあり、アーチ型の窓ガラス以外は全て木製です。脱衣所は男女別ですが、混浴です。話のタネに入浴をお奨めします。

道の駅月夜野矢瀬親水公園は規模は小さいですが、電気自動車用の充電施設があるのには驚きました。

### 電気自動車充電施設



此処は昔水上温泉で兄弟会をやった時に立ち寄った記憶があります。山田さんと再会し、自宅にお邪魔して3時間以上お話をしました。私はパソコンを持参したので、写真を見てもらう予定でしたがその時間も無く、話に夢中になってしまいました。6年ぶり位の再会です。出かける前から泊まっていくように言われていましたが、湯沢温泉に宿を予約してあるので、お断りして失礼しました。

3日は8:00.前に合流して、(湯沢は雨降りでしたが、清水トンネルを超えると晴れていました)山田さんの案内で近くの「戸神山」(771.6M)に登りました。

戸神山のフクロウ



リス



ネズミ



神社の境内のような駐車場から始めは緩やかな道ですが、その後は岩の多い急斜面を登ります。鎖もありました。鉾山跡もありました。ユニークなのは、登山道脇に幾つも木彫りの動物などが置かれていた事です。地元の方が枯れた木に彫ったとの事です。(拍手!)

山田さんは私より 10 歳も年上なのに、とてもお元気で健脚！。歩くのも速いです。山頂からの展望は低山の割に抜群でした。浅間山・赤城山・皇海山・上州武尊・榛名山など百名山だけでも十数座見れるとの事。山頂には石仏・山名版それに感心したのは立派な双眼鏡も設置されていました。

戸神山山頂で山田さんと



キツツキ



子持山山頂で山田さんご夫婦と



水上 I C からの戸神山



次はあの山に登りますと山田さんが指さしたのは「子持山」でした。立派な山容です。山田さんは時々トレーニングも兼ねてこの山に登っておられるとの事、日頃からの鍛錬の効果でお元気なのだと感じました。この山は地元の人には手頃で長野県では上田市の太郎山と同じように何回も登る人が多いようです。そんな人と何人かすれ違いました。皆山田さんとは顔なじみです。東京からの登山者に「何故この山に登られたのですか？」と聞いたら「関越道を良く利用するが、三角錐の立派な形が何時も気になった」との返答でした。私も帰路、水上 I C で見直してみましたが、確かに三角形のとんがった独特の山容でした。急坂な訳です。

次は沼田市・渋川市・高山村境の子持山（古い成層火山で標高 1296M）に登りました。歩き易い紅葉の登山道で山頂へ。沢山の登山者で賑わっていました。登山口が幾つもある人気の山ようです。山頂付近は木があり展望は良くないのが欠点ですが、赤城山などが良く見えました。混み合っていて少し離れた所で昼食。近くで山岳会のグループも食事中でしたが、恐らく谷川山系の登山予定が降雪で中止して急きょ雪の無いこの山に登ったのではと推測しました。

明日の大源太山は降雪で無理との判断で中止。湯沢温泉に向かいましたが、清水トンネルを抜けると又もや雨降り。正に「国境の長いトンネルを抜けるとそこは雪国だった」の小説の通りです。今回 2 泊した湯沢温泉はバブル時の高層ビル群が気になりました。新幹線の便利さは分かりますが、4 日はまあまあ天気でしたが、大源太山～七ツ小屋山は来年に延期します。帰路は飯山線沿いに走りました。道が良くて快適なドライブでした。山田さん、泊まらなくてすみません。里山案内して頂き、有難う御座いました。頂いた銘酒「谷川岳」美味しく頂いています。